

御影中学校 教育の四季 企画編

平成27年度 ☆御影中学校

「教育の四季」

☆教育目標

- ◎ 自主自律の人
- ◎ 創意実践の人
- ◎ 明朗誠実の人

☆学校経営の目標

◎生徒にとって、通いがいのある学校

◎教師にとって、働きがいのある学校

◎保護者にとって、通わせがいのある学校

☆本年度の重点

1 育てたい生徒の姿

- ・自分の良さに気づき、自信をもって行動できる生徒
- 合言葉：ナイストライ

- ・進んで家庭学習に取り組む生徒
- 合言葉：めざせ、家庭学習毎日90分

2 個に応じた学習指導

- ・習熟度の程度に応じた指導・TT
- ・家庭学習の習慣形成
- ・生徒の「分からない」を解決
- ・困り感をもった生徒への指導

3 漢字を正しく書き使う指導

春

明日への目標に
心躍らせる春

夏

活気に満ち
有言実行する夏

秋

語り合い 学び合い
磨き合う秋

冬

今と将来を見つめ
完全燃焼する冬

↓
生きる知恵をもち感性豊かな子どもを育て参ります

一人一人の生徒を大切にしている教育

保護者・地域に愛される ONLY ONE の学校をめざして

個性が輝く教育

【めざす生徒像】

- ★適切な判断をし、行動に責任をもつ生徒
- ★個性やよさを発揮し、やりぬく生徒
- ★誰に対しても真心をもって接する生徒

《具体的な手立て》

- 互いの良いところを見つけ、認め合う場面の設定・学級での日常的な取組
- 自分の良さ、得意なところに目を向けさせる指導
- 「良いとこ一声運動」を保護者にPR
- 生命や心を大切にしている生徒を育てる道徳教育
- 生徒に目標をもたせ、「本気の努力」を促す指導
- 特別支援教育に関わる校内指導体制の充実
- 豊かな心を育むボランティア活動
- 居心地の良い学校づくり・生徒会活動との連携
- 旭山学園との交流

確かな学力の向上

【めざす授業像】

- ★自分なりの思いや考えを表現し、他の人へ伝えることができる。
- ★生徒が友達と協力しながら活動し、活動を振り返りながら友達の良さを認めることができる授業
- ★生徒が課題を見つけ、自ら進んで活動し、課題の追求ができる授業

《具体的な手立て》

- 基礎・基本の確実な指導
- 家庭学習習慣化の取組・学習の質を高める指導
- 効果的な宿題の工夫
- 外部講師を活用した自発的な学習態度の育成
- 各種調査結果を踏まえた学力向上プランの作成・推進
- 開かれた授業や校内研究
- 学習内容と目標(シラバス)による主体的な学習
- 読解力をつける朝読書
- 生徒による授業評価

信頼される学校

【めざす学校像】

- ★「御影中学校が大好き」「御影中学校の生徒であることが自慢」と生徒が言える学校
- ★前年度踏襲から脱却し、常に改善を図る学校
- ★積極的な情報公開で、説明責任を果たす学校

《具体的な手立て》

- 学校便りやHPによる教育活動の情報発信
- 生徒・保護者・地域の方への迅速・適切・誠実な対応
- 保護者・生徒への学校診断アンケートによる学校評価と学校改善
- 学校支援委員会を活用した学校改善
- 地域公開授業参観週間、懇談会、家庭訪問、日常的な情報提供
- 地域の教育力の活用・御中ギャラリー・学校支援ボランティア
- 御影芸術文化祭参加

魅力ある教師

【めざす教師像】

- ★生徒の未知なる可能性を最大限に引き出し、伸ばせる教師
- ★すべては生徒のために努力を惜しまない教師
- ★常に自己修養・研鑽に励む教師

《具体像》

- 「ほめる・認める・励ます」を徹底し、生徒の自己肯定感を高める教師
- 生徒の良さを正しくとらえ、伸ばせる教師
- 生徒の話をしっかりと、じっくり聴ける教師
- 「わからない」「できない」「困った」「悩みがある」という生徒の声や心のサインを真剣に受け止め、大切にしている教師
- 教育公務員として個性や能力・特性・専門性を生かし、職務を遂行する教師
- 地域社会から信頼される教師

には、各教職員及び各校務分掌等毎に追加記述する。

☆教育目標 ○自主自律の人 ○創意実践の人 ○明朗誠実の人

一人一人の生徒を大切にする教育 保護者・地域に愛される ONLY ONE の学校をめざして

生徒の個性が輝く教育



良いところを見つけよう～ブックトーク



豊かな心を育む地域清掃ボランティア



職場体験学習

- 自分の良さ気づき、自信をもって行動できる生徒 合言葉：ナイストライ
- 互いの良いところを見つけ認め合う
- 居心地の良い学校づくりをめざす生徒会活動
- 心身を鍛える部活動

確かな学力を高める授業



「めざせ、家庭学習毎日90分」



「出前授業」～学ぶ意欲を高める



分かりやすい授業

- 自発的な学習態度の育成
- 家庭学習習慣化の取組
「家庭学習毎日90分」
- 習熟度別指導、TTによる個に応じた指導
- 学力向上プランの実践・検証・改善

信頼される学校



地域の芸術を学校に「御中ギャラリー」



地域の教育力「書写ボランティア」



御影地区の行事に参加

- 生徒・保護者・地域への迅速・適切・誠実な対応
- 学校診断アンケートによる学校評価と学校改善
- 学校支援委員会を活用した学校改善
- 学校便り・HPによるきめ細かな情報発信
- 地域の教育力の活用

「ほめる・認める・励ます」を徹底し、生徒の自己肯定感を高める指導に努める。

魅力ある教師

生徒一人一人を大切に、良さや可能性を引き出す指導に努める。



すべては生徒のために

1 学力向上について

(1) 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について(3年生)

		国語A	国語B	数学A	数学B	理科
平均正答率 (平均正答数)	御影中 全国比	やや高い ↑	やや高い ↑	高い ↑	かなり高い ↑	かなり高い ↑
	全道	75.8% (25.0/33)	65.7% (5.9/9)	63.0% (22.7/36)	39.7% (6.0/15)	53.3% (13.3/25)
	全国	75.8% (25.0/33)	65.8% (5.9/9)	64.4% (23.2/36)	41.6% (6.2/15)	53.2% (13.3/25)

※ A問題…主として「知識」に関する問題、B問題…主として「活用」に関する問題

※ やや高い0～3、高い3～6、かなり高い6以上

本調査の結果は、学力の一端を示すものであり、決して順位や細かな数値に振り回されてはならないところですが、今後も、本調査結果を踏まえ、生徒一人一人が毎日の授業を通して学習目標を達成できるようにきめ細かな指導の充実に努めて参りますので、ご家庭におかれましてもこれまで以上のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

◎ 具体的な取組

① 指導内容・指導方法の工夫

- ・学習内容に興味関心が高まるような指導法の工夫（ICTの効果的な活用）「わかった」「できた」を実感できる授業づくりに努めます。
- ・ねらいの明確化と課題に正対したまとめなど授業における学習の過程を整理し、わかる授業づくりを目指します。
- ・効果的なノート指導など、書く指導について工夫します。
- ・言語活動を充実させ、コミュニケーション能力の向上を目指します。

② 家庭や地域との連携

- ・家庭学習の充実や適正なテレビ・ゲームの時間など基本的な生活習慣や生活リズムの確立に努めます。

2 アンケートQUの活用についてー「教師力」、「学校力」のアップに向けて

今年度より教育委員会に予算をつけていただき実施。

◎ QUを実施するねらい

- (1) 生徒理解のためー学級集団の理解と生徒個々の理解（気になる部分の把握）
- (2) 学級・生徒支援についての校内連携（チームでかかわる）
- (3) 年間を通じた支援サイクルと支援体制づくり
 - ◆以上の情報を解釈すると次のような情報が得られます。
 - ・いじめ被害を受けている可能性の高い生徒はいないか。
 - ・意欲が低下している生徒はいないか。
 - ・学級集団の雰囲気はどのような状況であるか。
 - ・学級崩壊に至る可能性はないか。など

全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

校長 寺島 康博

3年生を対象に行いました今年度の「全国学力・学習状況調査」(4月21日実施)の結果が届きましたので、その概要につきましてお知らせします。本校では、この結果を生かして、さらに子どもの学力が定着するよう、また、学習状況が改善されるよう努めていきたいと考えております。各家庭におかれましても、お子さまの学習状況等をご確認され、今後の学習や家庭教育に生かしていただければと思います。

本校生徒の学力の傾向

- 国語A(知識)・・・今回出題されている学習内容に関してはおよそ理解していると考えられますが、いっそう基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける必要があると考えます。
 - ・「話すこと」「聞くこと」「言語事項」各領域・観点で学習内容をほぼ理解し、ある程度の定着が見られますが、『読むこと』『書くこと』で基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける必要があります。
 - ・読書に対する関心が薄いせいか、語彙力がやや乏しい。漢字や語句の意味を理解して適切に文書を作ったり、文脈に即した語句を選択するなどの力を身につけることが課題です。
- 国語B(活用)・・・今回出題されている学習内容に関してはおよそ理解していると考えられますが、身に付けた知識や技能の活用力をより高めていく必要があると考えます。
 - ・『話す・聞く能力』『書く能力』については、一定程度の定着が図られている。
 - ・資料をもとにして、そこから発展させて自分の考えを具体的に書く力を伸ばしていくことが課題である。
- 数学A(知識)・・・今回出題されている学習内容に関してはおよそ理解していると考えられますが、いっそう基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける必要があると考えます。
 - ・『図形』についてはある程度の定着が見られますが、『数と式』『数量関係』の領域について数量関係を等式不等式に表すなど、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける必要があります。
 - ・数学的に表現したり、数学的に表現された事柄を読み取ったりすることに課題が見られます。
 - ・二元連立方程式の処理、対称移動の図形、一次関数のグラフから式を選ぶ問題などではある程度の定着は見られますが、方程式を解く手順、関数、確率の分野での定着が今後の課題です。
- 数学B(活用)・・・今回出題されている学習内容に関してはおよそ理解していると考えられますが、身に付けた知識や技能の活用力をいっそう高めていく必要があると考えます。
 - ・『関数領域』や『図形領域』情報を読み取った後、既習の学習内容を振り返り、応用していくことに課題が見られます。考え方を説明する部分を多く作り、応用問題に多く取り組む必要があります。
- 理科・・・今回出題されている学習内容に関してはほぼ理解していると考えられます。
 - ・「化学的」「地学的」領域で定着が見られますが、「物理的」「生物的」領域で基礎的・基本的な知識・技能、活用する力を身に付けさせる必要がある。
 - ・観察・実験の技能についてはある程度の定着が見られるが、観察・実験結果などを分析し解釈する力を身に付けさせたい。

本校生徒の家庭生活の傾向

- ・全国的な傾向違い、朝食をしっかりと摂る習慣が9割以上と身につけている。
- ・早寝・早起きについては、毎日同じ時刻に寝るが約3割、毎日同じ時刻に起きるが5割とほぼ全国と同じ状況になっている。
- ・テレビの視聴時間はほとんどが1時間以上と全国よりもやや多い状況である。1日にゲームをする時間は1時間以上が8割と全国よりも2割も多くなっている。また、1日に携帯電話やスマートフォンでインターネットや携帯電話を1時間以上使用している状況は8割を超え、これも全国よりも2割も多くなっている。ゲームの使用時間もインターネットとほぼ同じ状況でテレビやゲーム、インターネットに依存している生徒が多い状況であり、重要な課題と押さえます。
- ・学校の授業以外に普段1日当たり1時間以上勉強する生徒は6割を超えており、全国とほぼ同じ状況にある。しかし、全道・全国とも6割ぐらいの生徒が学習塾に通っている状況なので、本校生徒の家庭学習の時間は、全道全国と比べるとかなり少ない状況にあると思われる。

平成27年度 学校改善プラン概要

御影中学校

生徒の実態

H27全国学力・学習状況調査より（自校採点）

国語A 正答率 77.8%	質問紙 ○基本的な生活習慣は身に付いている。 ○自己肯定感が高いほうである。 ○自分で計画を立てて勉強している生徒の割合は60%で、高い割合である。 ●読書時間は、30分以下が73%で、読書時間がかなり短い。 ●「数学の授業で学習したことを普段の生活に活用できないか考える」に対し、53%が「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を選択している。
国語B 正答率 73.3%	
数学A 正答率 68.6%	
数学B 正答率 46.2%	
理科 正答率 58.1%	

H26教研式CRT検査の分析結果より（課題）

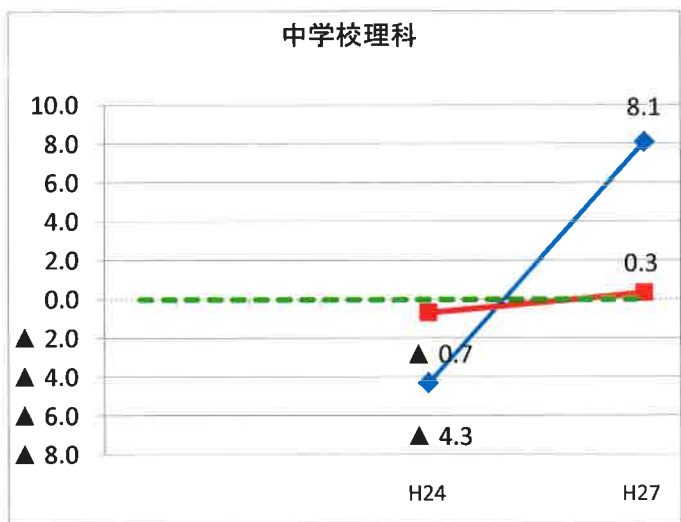
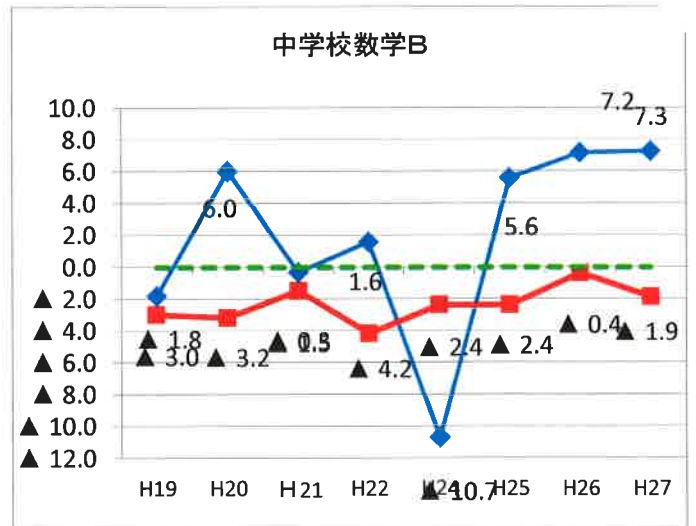
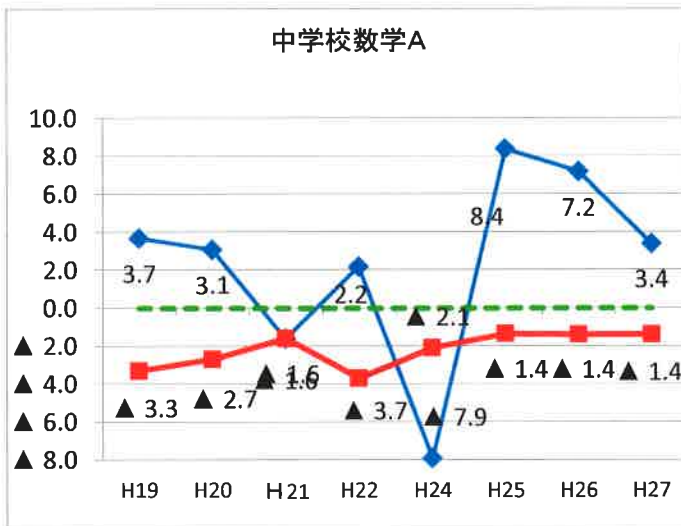
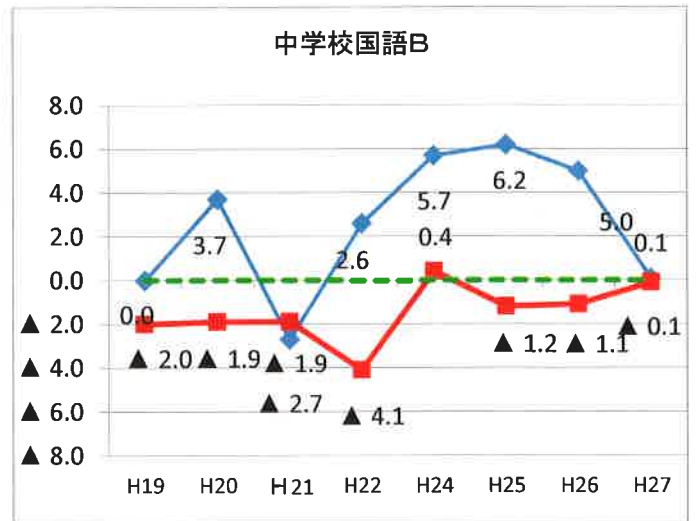
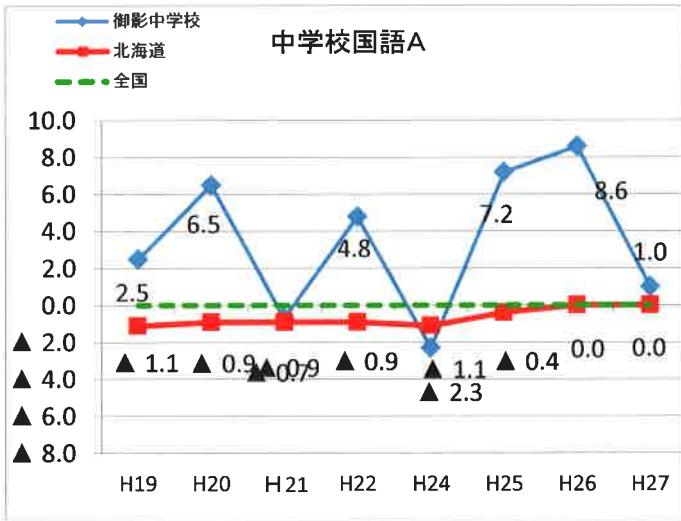
	現2年	現3年
国語	<ul style="list-style-type: none"> 小領域でみた場合、文法（文や文節についての理解）、漢字の書き取りなど「言語文化」の部分で、全国平均を下回っている。 小説等の文章において、文脈から語の意味を読み取ったり、表現を読み取ったりすることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「古典的な文章に親しむこと」が、全国平均を大幅に下回っている。 書くことに対して若干苦手意識をもっているようで、内容的には悪くないものの、時間がかかり構成をうまく組み立てることができない。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 「関心・意欲・態度」以外の観点で全国より平均正答率が下回っていた。全体的に数学が苦手な生徒が多い。 言葉の意味を捉えられなかったり、何を求めているのか解き方の見通しを持っていないなど、問題を読み取ることが苦手と思われる。 特に、方程式の文章題や比例、反比例の式やグラフの読み取りができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「数学的な見方や考え方」の観点が他の観点に比べると正答率が低いことから、単純な計算問題には強いが、数学的な表現や論理的に考えることが苦手と思われる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地理に比較すると歴史的分野の内容に対する理解の度合いがやや低い。（特に「歴史の流れ」） 	<ul style="list-style-type: none"> 小領域で見ると、得点率に大きな差が表れた領域があった。（「日本の産業と資源」と「関東地方」、「織田・豊臣による天下統一」と「江戸時代の産業の発展や文化」）
理科	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・理解」の得点率は100で得点を見ると0.3点平均に届いていない。 領域としては化学の「身のまわりの物質」の得点率が全国比100で、得点を見ると全国を0.3点上回る程度である。 特に「水溶液」の小領域は得点率91と得点率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地球の大気と天気の変化」の領域が全国比96と低い。 特に「天気の変化」に関わる問題を苦手としている生徒が多い。 観点別では「観察・実験の技能」が他の観点よりは全国比が低い。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・理解」は、全国平均よりも得点率が高いものの唯一60点台となっており、今後、既習事項の定着をはかっていく必要がある。 特に、語形変化について課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 語順整序を苦手としている生徒が多かった。 英作文につまづきのある生徒が多かった。

改善方策

通年	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上プランの実践・検証・改善 課題のわかりやすい提示とまとめの時間の確保 漢字を正しく書き、使う活動の充実（全教科・学級活動等） 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書 放課後等における補足的な学習サポートの実施
----	--	--

	改善方策	計画内容
第1期	<ul style="list-style-type: none"> 校長、教頭が日常的に授業参観を行い、面談を軸に指導や助言を行い、教師のやる気を高める授業改善を図る。 授業における、わかりやすい課題の提示とまとめの時間の確保の徹底を図る。 5教科の学力向上プラン（1学期）の実践・評価 各教科や学級活動等で、書く活動を多く取り入れ、漢字を正しく書けるようにする。（ノートやレポート、作文等） その日の授業に関連した内容や既習の事項を宿題として出題し、基礎学力の確かな定着を図る。 「生活・学習アンケート」により生徒の生活・学習状況の実態を把握し、家庭学習を毎日90分以上取り組むことを習慣化させる。 放課後等における補足的な学習サポートを実施する。 朝読書に加え、日常的に文書に親しませるため家庭の協力を得て、読書環境の充実を図る。 第1期の指導の検証と2学期の目標設定 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の手引き配布 予習（復習）の方法指導 第1回生活・学習アンケート実施 家庭学習習慣化の取組（授業に関連した内容や既習内容の復習など） 外部講師の講話 チャレンジテストの実施・達成目標の検証・補充学習
第2期	<ul style="list-style-type: none"> 5教科の学力向上プラン（2学期）の実践・評価 全国学力・学習状況調査の結果分析と改善策検討 第2回「生活・学習アンケート」を実施し、改善策をまとめる。 家庭学習習慣化の取組の検証と改善① 第2期の指導の検証と3学期の目標設定 *その他は、第1期の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中の学習サポート 家庭学習習慣化の取組（授業に関連した内容や既習内容の復習など） 第2回生活・学習アンケート実施 家庭学習習慣化の取組の検証と改善① チャレンジテストの実施・達成目標の検証・補充学習 校内授業研究による授業改善 全国学力・学習状況調査の結果分析と改善策検討
第3期	<ul style="list-style-type: none"> 5教科の学力向上プラン（3学期）の実践・評価 家庭学習習慣化の取組の検証と改善②（次年度に向けて） 3年生から1・2年生への講話（学習方法や受験に向けての心構え） 平成27年度全国学力・学習状況調査や教研式CRT検査などの結果、学力向上プランの実施状況をもとに、次年度の学力向上プランを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中の学習サポート 家庭学習習慣化の取組の検証と改善②（次年度に向けて） 3年生から1・2年生への講話 チャレンジテストの実施・達成目標の検証・補充学習 平成28年度学校改善プラン作成
評価	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査や教研式CRT検査の結果 学校評価（自己評価、学校関係者評価） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校診断アンケート（保護者、生徒、教職員）

御影中学校の平均正答率の推移



※ 数値は、北海道(公立)の平均正答率－全国(公立)の平均正答率の差で算出

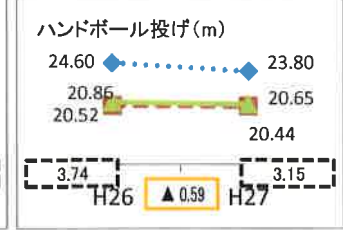
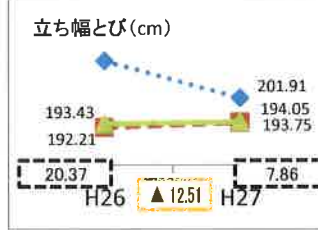
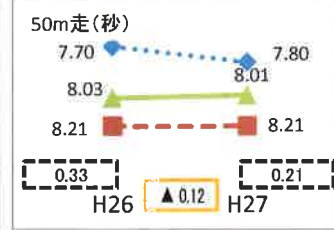
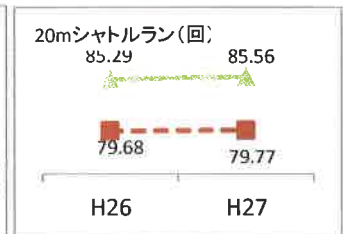
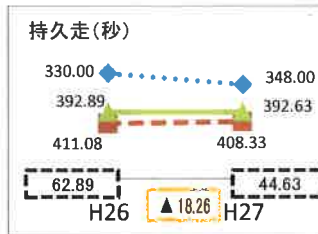
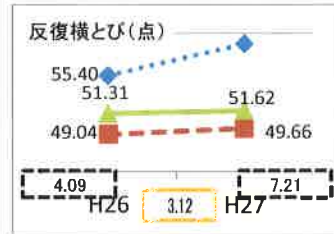
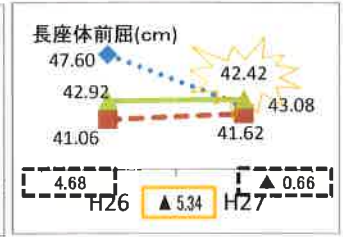
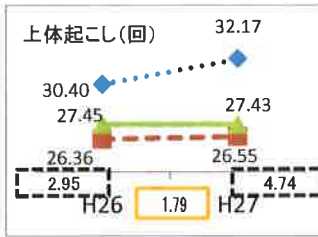
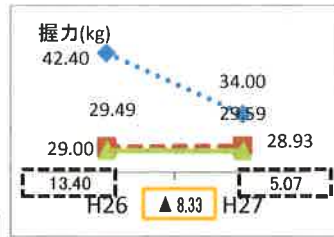
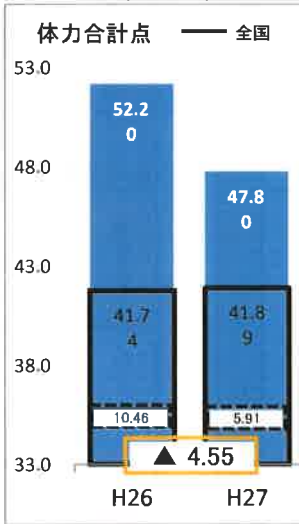
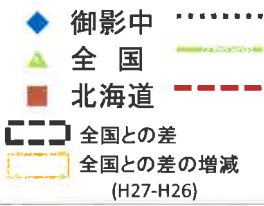
■学力向上目標達成スケジュール(平成27年度)

年度	27年度												28年度				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月			
学校行事	入学式 家庭訪問 参観日		体育祭	終業式 夏休み	夏休み 修学旅行		文化祭		終業式 冬休み	冬休み 始業式		卒業式 修了式	入学式				
学力調査 スケジュール	H27学力学習状況調査		北海道版分析ツールによる分析			H27学力学習状況調査の公表(国)			結果の公表(道)			CRTテスト 教科担任による分析		H28学力学習状況調査			
学校改善プラン	教科担任による分析			第1期			教科担任による分析			第2期			教科担任による分析			第3期	
	学力調査の自校採点 調査結果の分析 新たな数値目標の設定 自校採点からの 検証や改善			学校診断アンケート①			調査結果の分析 改善策検討 数値目標の修正			調査結果の分析 改善策検討 数値目標の修正			学校診断アンケート②			3年生から1.2年生への講話 学力調査や取組の検証	
	第1回生活・学習アンケートの実施			生活改善・授業改善の取組①			第2回生活・学習アンケートの実施			生活改善・授業改善の取組②			H28学校改善プラン作成			第1回生活・学習アンケートの実施	
	学力向上プランによる授業の取組			ハイパーQ-U ☆課題のわかりやすい提示とまとめの時間の確保(全教科) ・漢字を正しく書き、使う活動の充実(全教科・学級活動)			ハイパーQ-U										
	5教科の学力向上プランの実践・評価①						5教科の学力向上プランの実践・評価②						5教科の学力向上プランの実践・評価③				
学習サポート 宿題	放課後等における補充的な学習サポートの実施		夏休みの学習サポート		放課後等における補充的な学習サポートの実施			冬休みの学習サポート		放課後等における補充的な学習サポートの実施							
家庭との連携	家庭学習 習慣化の取組(授業に関連した内容や既習の内容の復習など)																
	家庭学習の手引き配布と説明			家庭学習の習慣化と取組の検証・改善①			家庭学習の習慣化と取組の検証・改善②										
	家庭学習毎日90分の取組(50%達成へ)																
オール北海道で 目指す目標																	
チャレンジテスト	①前年度サポート問題		②1学期末問題 ③夏休み版			④1学期サポート問題			⑤2学期末問題 ⑥冬休み版		⑦2学期サポート問題		⑧学年末問題		⑨春休み版		
分析ツール				資料作成分析								資料作成分析					

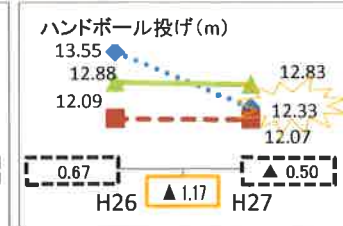
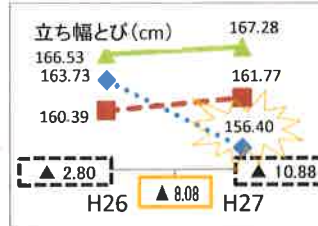
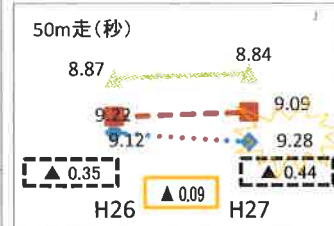
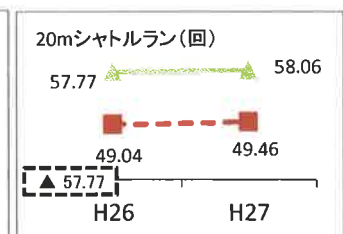
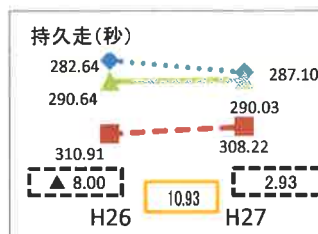
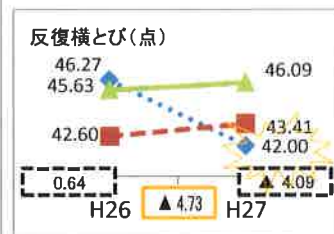
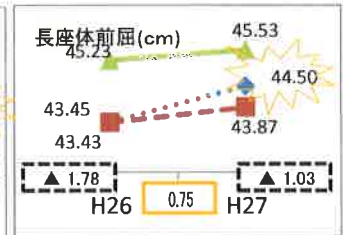
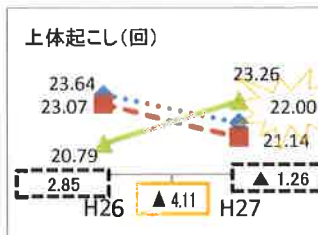
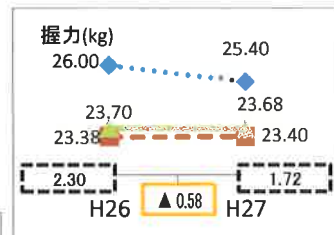
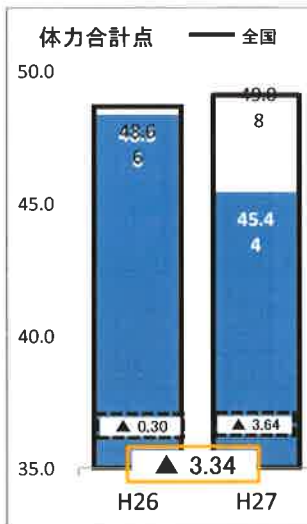
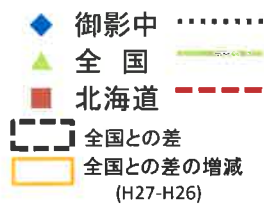
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 御影中学校調査結果のポイントについて(概要)

2015/12/15

男子



女子



全国中学校アイスホッケー初出場V

連合D

御影 芽室 屈足

猛攻で悲願達成

植森先制弾 中條主将ハット

【群馬県渋川市アイスホッケーの部同全国中学校大会】日本中絶望を主眼は毎日、決勝3位決定戦を行った。十勝連合D(御影、芽室、屈足)は決勝で小牧合同A(早来、隆北、和志)に3-0で勝利し、初めて頂点に立った。十勝連合Dは1-1リプレイ2分34秒でFWの植森(御影)が先制点を挙げ、開始1分41秒に主将中條(御影)が、その後も試合進行に連ね、中條(御影)のハットトリックを成し、突き放した。3位は駒形南二(一部掲載)。

苦小牧合同Aを8-3

十勝連合D	小牧合同A
9	3
2	1
7	1
8	1
1	0
17	3
1	3
13	3
4	0
16	4
4	1
31	3
0	1
10	1
0	3

かちまいスポーツ



【決勝・十勝連合D-苦小牧合同A】初優勝を決めた十勝連合Dの選手たちは、GKを中心に歡喜の輪をつくる(大賀 幸好撮影)

十勝連合D

御影	9
植森	2
中條	7
隆北	8
和志	1
早来	17
野村	1
山本	13
佐藤	4
鈴木	16
田中	4
山崎	31
佐藤	0
山崎	10
佐藤	0
山崎	3

快勝だった。金澤大快勝と同じカードになった頂上決戦は、十勝連合Dが攻守で苦小牧合同Aを崩す。試合終了のブザーと同時に連勝はヘルメットにシークを掲げ出し、日本のもとへ駆け寄り、日本の旗を掲げさせた。中條主将(御影)は、試合終了後、日本の旗を掲げさせた。中條主将(御影)は、試合終了後、日本の旗を掲げさせた。中條主将(御影)は、試合終了後、日本の旗を掲げさせた。

十勝連合D

御影	9
植森	2
中條	7
隆北	8
和志	1
早来	17
野村	1
山本	13
佐藤	4
鈴木	16
田中	4
山崎	31
佐藤	0
山崎	10
佐藤	0
山崎	3

選手15人喜びのひと言

	父に続けた	Dの新人(御影)は、初優勝を決めた。父に続けた。父に続けた。父に続けた。
	とにかく最高	FWの木村(御影)は、とにかく最高。とにかく最高。とにかく最高。
	点決められた	Dの新人(御影)は、点決められた。点決められた。点決められた。
	リリースできた	FWの植森(御影)は、リリースできた。リリースできた。リリースできた。
	成果あった	FWの中條(御影)は、成果があった。成果があった。成果があった。
	シンプルにプレー	Dの木村(御影)は、シンプルにプレー。シンプルにプレー。シンプルにプレー。
	1年かけて頑張った	FWの植森(御影)は、1年かけて頑張った。1年かけて頑張った。1年かけて頑張った。
	先輩が力発揮した	Dの木村(御影)は、先輩が力発揮した。先輩が力発揮した。先輩が力発揮した。
	自分も強くなりたい	FWの植森(御影)は、自分も強くなりたい。自分も強くなりたい。自分も強くなりたい。



【決勝・十勝連合D-苦小牧合同A】第2ピリオド16分、十勝連合D・佐藤(左)が7点目のゴール(大賀幸好撮影)

「自滅」の反省生かす
昨年11月に十勝で敗戦
「強い気持ち」目指し練習



【決勝・十勝連合D-苦小牧合同A】中絶望を主眼は毎日、決勝3位決定戦を行った。十勝連合D(御影、芽室、屈足)は決勝で小牧合同A(早来、隆北、和志)に3-0で勝利し、初めて頂点に立った。十勝連合Dは1-1リプレイ2分34秒でFWの植森(御影)が先制点を挙げ、開始1分41秒に主将中條(御影)が、その後も試合進行に連ね、中條(御影)のハットトリックを成し、突き放した。3位は駒形南二(一部掲載)。